

# キウイフルーツ雄樹の Tバー仕立てによる管理作業の省力化

## 果樹部

### 1 背景、目的

キウイフルーツ生産現場では人工受粉に使用する花粉の供給が不安定となっており、花粉の自家採取が必要になっています。しかし、花粉採取用の雄樹の管理作業は、脚立を用いた高所での作業が多く労働負担が大きいことが問題となっています。そこで、Tバー仕立てによる省力管理技術を開発しました。

### 2 成果の内容、特徴

- 1) キウイフルーツ雄樹のTバー仕立ては、新梢が下垂するため管理作業に脚立が不要です。主枝の高さ1.7m、樹幅2m、株間2m、列間4mとします(図1)。
- 2) Tバー仕立てでは、花粉10gを採取するのに必要な夏季管理時間と冬季せん定作業時間が、慣行の平棚仕立てに比べてそれぞれ約60%、約50%削減できます(図2)。
- 3) Tバー仕立ての花粉収量は、定植3年目に1a当たり約70gとなり、慣行の平棚仕立ての約60%増加します(図3)。

### 3 主要なデータ・画像など

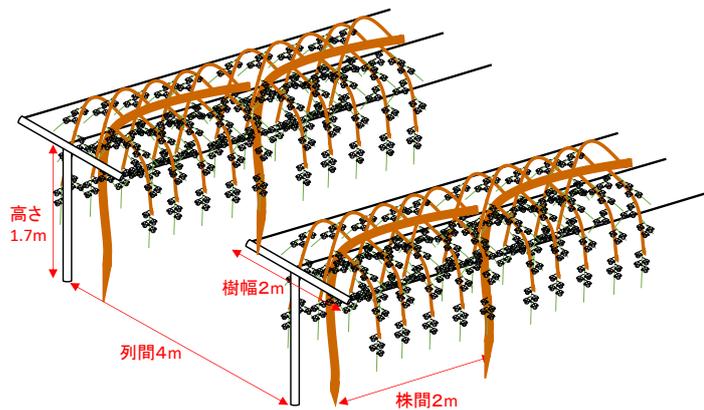
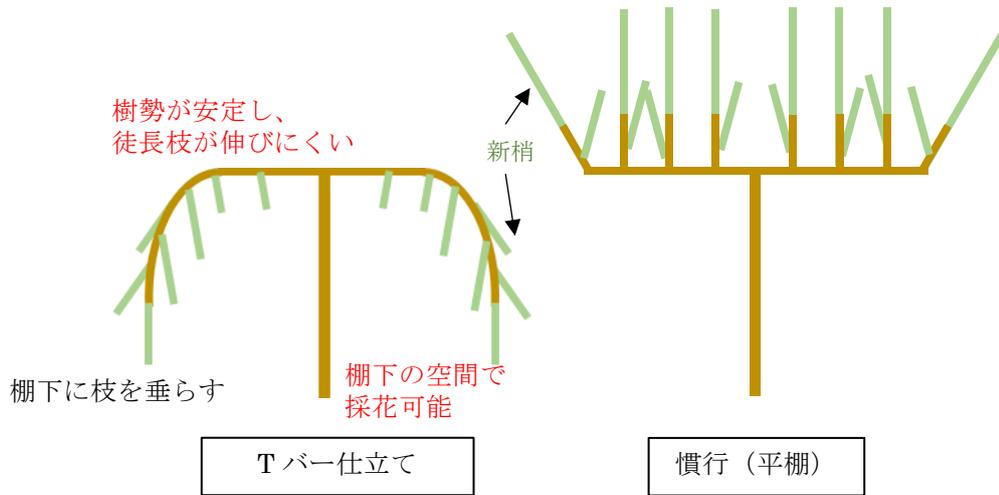


図1 キウイフルーツ雄樹のTバー仕立て（イメージ図）

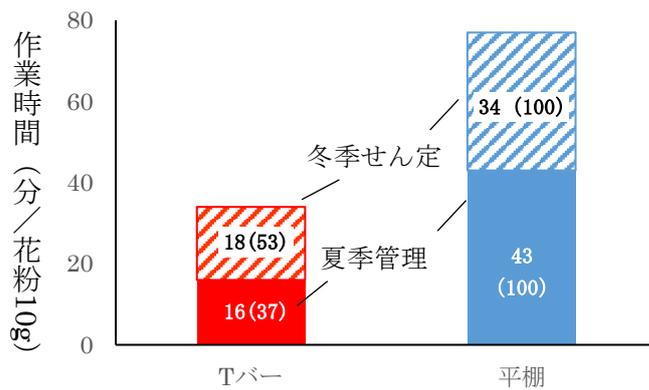


図2 Tバー仕立ての省力効果

- 注) 1. 供試樹：「トムリ」、樹齢3～4年生  
 2. 夏季管理は、夏季せん定、摘心、誘引時間の合計。  
 3. ( ) は平棚を100とした場合の値。

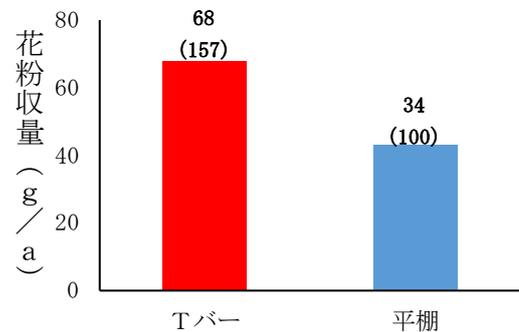


図3 Tバー仕立ての花粉収量

- 注) 1. 供試樹：「トムリ」、樹齢3～4年生  
 2. ( ) は平棚を100とした場合の値。